

ふるさと講座自然系第2回目のお知らせ！ 「初冬の野鳥観察会 ユキホオジロ・コクガンを観察しよう」

- 日 時 平成30年11月24日（土）午後1時～5時
- 場 所 野付半島
(集合・解散は野付半島ネイチャーセンター2階)
- 講 師 別海町立野付中学校 校長 藤井 薫 氏
- 申込方法 定員15名 11月23日（金）までに、電話・FAX・

メールにてお名前と電話番号をお知らせください。

- その他 観察場所は、野付半島最後の番屋から徒歩で先端まで行ったところ（約2キロ）
防寒着・長靴を着用ください。図鑑・双眼鏡をお持ちの方は持参ください。当館でも若干貸出しします。



ふるさと講座・歴史系第3回目

「擦文・アイヌ時代～オンネニクルの森を歩こう・野付 1.2 遺跡」を実施しました。

10月14日（日）参加者21名で実施しました。ネイチャーセンターで、オンネニクルの森について説明の後、ナラワラ駐車場付近の番屋まで移動しました。ナラワラを歩き、イドチ岬チャシ跡、野付1.2遺跡を見学し、枯れ木が多い森の中央部で休憩をとりました。天候も良く野付半島特有の綺麗な風景が広がり、程よい距離を歩く運動にもなることから、好評でした。



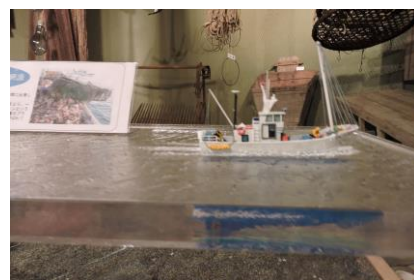
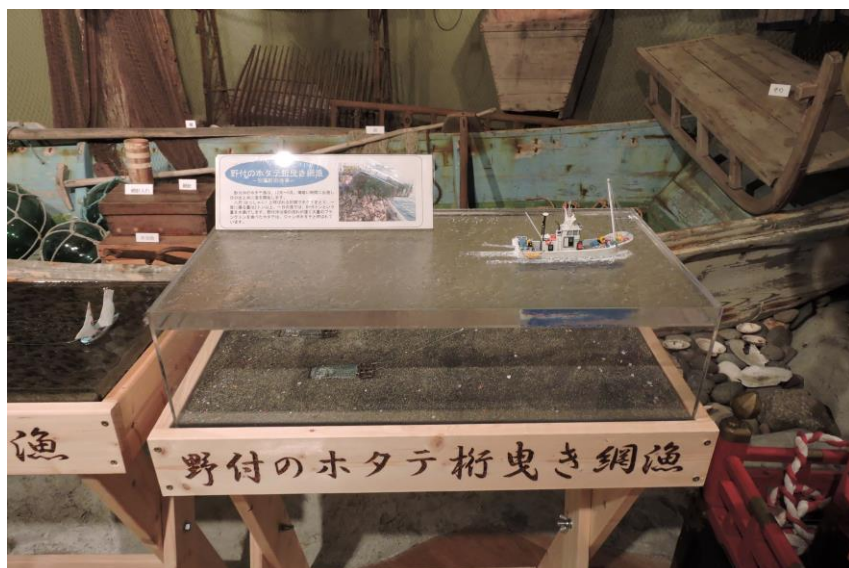
新作資料の紹介

「野付のホタテ桁曳き網漁」ジオラマ

別海町の歴史や自然そして産業をわかりやすく解説するために当館では、様々なジオラマを作成してきました。今回、漁業シリーズ第2弾として「野付のホタテ桁曳き網漁」ジオラマを作成しました。

野付沖のホタテ漁は、12月～5月。薄暗い時間に出港し日の出と共に漁を開始します。八尺（はっしゃく）と呼ばれる桁網でホタテをとり、一度に揚がる量は2トン以上、一日の漁では8～9トンという量を水揚げします。野付沖は潮の流れが速く大量のプランクトンを食べたホタテは、ジャンボホタテと呼ばれています。

海の中の様子は、水中写真での撮影もなかなか難しいものがあります。今回のジオラマでは、海の中の様子も再現し、こうしてホタテ漁が行われていることが一目でわかります。ぜひ、ご来館いただき、これまで作成したジオラマと合わせてご覧いただきたいと思います。



別海町郷土資料館だより No.232

発行日 平成30年11月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

ジオラマ作りも今回で7作目となりました。3人の臨時事務員さんが作成しているもので、完成度が高く博物館関係者からは高い評価をいただいております。見た方も「こうなんだ」と感じると共に、作成している側も色々勉強になるかと思えます。自分が住む町のこと沢山知りたいですよ（K.I）